

iTent アドテント ワンタッチテント

ADH 3030 / ADH 3045 / ADH 3060 取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき

ありがとうございました。

安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書及び本体表示をよくお読みの上、本書に掲載されたご使用方法に従い、適正に長くご愛用いただきまますようお願い申し上げます。本書内容に従わず不適切な取扱いをした場合、使用者や第三者に事故をもたらす危険性があります。

梱包内容	● 完成フレーム	1脚
	● 天幕	1枚
	● 収納カバー	1ヶ
	● 天幕固定ナット	1式
	● 組立工具	各1式



本製品を安全にご使用いただくために、下記要項を必ずお守りください。
誤った取扱いや使用状況、また改造等による破損・事故、および経年などによる部品各部の劣化、損傷、腐食や錆などの発生については、責任を負いかねますので、ご了承ください。

《マークの意味》



この表示の指示を無視し誤った取扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。



この表示の指示を無視し誤った取扱いをすると、障害を負う可能性、及び物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

メンテナンス

- 使用後は、天幕とフレームの汚れを落とし、よく乾かしてから収納・保管をしてください。
- 天幕生地が汚れると美観を損なうだけでなく、耐候性・耐久性も著しく低下します。定期的にスポンジと薄めた中性洗剤で軽く洗い、洗剤が残らないように拭き上げをしてください。(シンナーやアルコール類は生地を傷めるので絶対に使用しないでください。)
- 天幕などの生地は経年経過で劣化してきます。撥水性・防水効果が低下した場合

- は、市販の防水スプレーなどを定期的に塗布してください。また、キズや穴がある場合は、シーラー剤などで補修してください。
- 使用後のフレームには、スプレーオイルまたはシリコン等を吹き付け、乾いた布で拭いてください(特にインナーレグ部分を重点的に)。メンテナンスを怠ると、腐食・変色・かびの発生等につながりますので、ご注意ください。
- フレームのハガレや錆を見つけた場合は、市販の補修用品で、早急に塗装・補修をしてください。

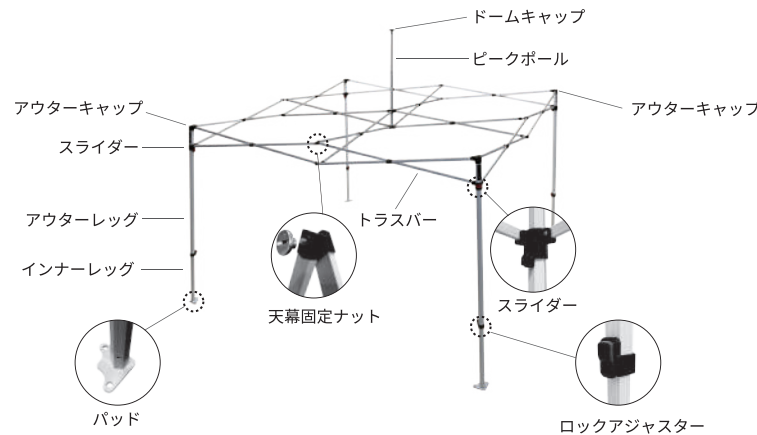
保管場所

- 本製品を保管する際は、直射日光を避け、雨が当たらず風通しの良い湿度の少ない場所に、必ず立てた状態で保管してください。
- 天幕を濡れたままの状態や高温多湿な場所に長期保管すると、色移りや変色することがありますので、定期的に広げてメンテナンスしてください。

製品仕様

	アドテント ADH 3030	アドテント ADH 3045	アドテント ADH 3060
完成サイズ	3.0m X 3.0m(ベース面積)	3.0m X 4.5m(ベース面積)	3.0m X 6.0m(ベース面積)
全高(調節)	310 / 318 / 326 / 334 / 342 cm (5段階)		
軒高(調節)	177 / 185 / 193 / 201 / 209 cm (5段階)		
収納サイズ	H 161 × W 28 × D 28	H 161 × W 35 × D 28	H 161 × W 45 × D 28
重量	27.3kg	36.1kg	48.3kg
天幕素材	ポリエステル100%・撥水・紫外線カット率 99%・難燃性基準「CPAI-84」に適合		
フレーム	支柱: アルミ6角パイプ / トラス: スチール長方形パイプ		
原産国	中国		
付属品	収納カバー・組立工具		
オプション	鍍物ウェイト・ウェイトバッグ・調節式固定ベルト		

各部の名称



iTent 販売元 株式会社 アイテント
〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄3-2-3 名古屋日興證券ビル4階
TEL 050-5360-5854 (代表)
HP: <http://itent.jp> Mail: info@itent.jp

■お問い合わせ、ご用命は...

安全上の注意

《使用環境》



- 本商品は短時間での簡易利用を目的として設計されており、常設には適していません。風対策品をご活用いただいても、強風や豪雨・降雪などの場合はテントが破損したり、人的・物的被害が起こる恐れがありますので、悪天候時のご利用はお控えください。
- お客様の不適切なご使用、又は雨・風などが原因で発生した故障や事故などに関しましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 降雨量によっては、天幕に水が溜まってしまふ可能性があります。溜まった雨水を放置しておく、天幕が破れたり、フレームが破損する可能性がありますのでご注意ください。
- 強風時は使用しないでください。無風状態でも、突風によりテントが飛ばされよう、ご使用の環境に合わせて各支柱下端部に、質量20kg以上のウェイトをセットするか、杭やベルトを使用して固定するなど、必ず風対策をしてご使用ください。
- 電源・電線の近くや落雷時は使用しないでください。フレームには金属を使用していますので、感電や落雷火災などの原因となり危険です。

《使用用途》



- テントを加工・改造したり、本体の表示を故意に剥がしたり隠したりしないでください。また、テントの用途以外の使い方をしないでください。破損・欠損して事故につながる恐れがありますので、テント本体に荷物を吊ったり、物を掛けたりして荷重をかけないでください。またテントの周囲には危険な物を置かないでください。
- 天幕部の防炎加工とは、燃えにくいことや瞬間燃え広がらないことを意味し、全く燃えないということではありません。天幕が発火して、やけどをする恐れがありますので、テント内やテント近辺で火気は絶対に使用しないでください。また、横断をテントを密閉して、内部で火気を使用すると一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。


《取扱上の注意》



- ロープ、杭、ウェイトなどを使用し、テントは常に地面に押さえ付けられた状態にしてください。強風時や悪天候時は、杭や重りを使用してもテントが吹飛ばされて、テントが破損したり、人身・物損事故につながる恐れがありますので、使用を中止してください。天候不順が原因で破損したテントのクレームは一切保証ができませんので、あらかじめご了承ください。
- 初回使用時は、設営前に天幕をフレームに固定する作業が必要です。15～30分ほどかかります。
- フレームの開閉は、可動部などで手指を挟んで怪我をしないように注意し、必ず決められた箇所を握り、急がず静かに行ってください。天幕をフレームに固定した後は、面倒な収納・設営ごとの天幕着脱は必要ありません。ただし、すべてのストッパーなどを確実にロックした状態でご使用ください。
- テントの保管及び運搬は、常に立てた状態にして行ってください。テントを畳かたまま保管及び運搬を致しますと、天幕生地が擦れて穴が開いてしまいますので、畳かたまま保管及び運搬をされる時は、予め天幕をフレームから取外してください。また、雨ざらしにして保管しないでください。
- 移動、設営、撤収時は大人が必要人数で行ってください。その際、周りに充分注意し、乱暴に扱わないでください。必ずテントに異常がないことを確認してからご使用ください。なお、異常が確認された場合には直ちに使用を中止し、必要に応じて販売店か総輸入元にすみやかに連絡をとり、修理又は交換などの適切な処理を行ってください。
- 選搬時や保管時に本体を投げ下ろしたり、重いものを乗せたりしないで下さい。扱いが荒いと天幕やフレームの破損につながります。
- テントの設置は平坦な場所で行い、周りの安全を確かめながらご使用ください。
- 設営時は必ずユーザーが付き添ってください。台や箱の上、傾斜地など不安定な場所や滑りやすい場所には設営せず、安定した状態であることを確認のうえご使用ください。
- 使用中は、必ず大人の方がテントの状況を把握してください。小さなお子様だけでのご使用はお避けください。

【重要】テント設営の前に...


1



まず内容物がすべて揃っているかご確認ください。フレームには簡易工具(六角レンチ・サークルプレート)と天幕固定ナットが同梱されており、確認できましたら、まずフレームを半開きにします。この時、まだ脚のロックは固定しません。


簡易工具
天幕固定ナット

2



半開きにしたフレームに天幕を被せます。天幕とフレームの4角にはマジックテープがあるので、それで天幕とフレームを固定します。

3

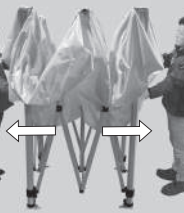


天幕固定ナットを天幕のハトメに合わせ、フレームと天幕をしっかりと固定させます。天幕固定ナットを締める際は、付属の六角レンチで後ろを固定しながら、サークルプレートで天幕固定ナットを回します。3.0m X 4.5mや3.0m X 6.0mはナットの取り付け位置を間違えないようにご注意ください。

注意 天幕固定ボルトは、緩みのないようにしっかりと締めてください。

設営手順 写真は、ADH 3030を例に説明していますが、ADH 3045、ADH 3060も手順は同じです。


1



テントを中心に2人が向かい合って下さい。

注意 設営は、必ず大人2人で行ってください。3~4名で行うと、それぞれの作業ペースに差が生じて、フレームが破損します。


2



矢印部分のトラスバーを握り、テント全体を少し持ち上げながらゆっくり後退します。

注意 急いんだり、後方に強く引きすぎると、トラスを曲げてしまう可能性があるため、気を付けながら聞いてください。


3



フレームが全開になったら、テントを静かに地面に降ろしてください。

持ち上げて広げる


4



四隅のアウトターレッグの頂点を片手で押さえ付けながら、もう一方の手でトラスを押し上げ、スライダーをロックしてください。

注意 手や指を挟まないように注意しながら、「カチッ」と音がするまで押し上げてください。


5



お互いにベース部分を足で踏みながらインナーレッグを伸ばします。

注意 ADH 3045、ADH 3060の場合、6m側両端の支柱を伸ばしてから、中央の支柱を伸ばしてください。

6



反対側の収納状態のインナーレッグ2本も、同じように伸ばして設営完了です。

注意 風対策としてオプション品の鋳物ウェイトやウェイトバッグ・ベグなどをご使用ください。

収納手順 写真は、ADH 3030を例に説明していますが、ADH 3045、ADH 3060も手順は同じです。

1



お互いにアウトターレッグ上部を少し持ち上げ、ロックアジャスター ボタンを押して、コーナーポスト下部を収納します。

注意 ロックに負荷がかかっています。ボタンを押しやすくするには、支柱を少し浮かせてください。

2



反対側の、アウトターレッグ下部も同じように収納してください。

注意 ADH 3045、ADH 3060の場合、6m側中央の支柱を収納してから、両端の支柱を収納してください。

3



各コーナーでスライダーのボタンを押して、ロックを解除します。

注意 ボタンにはテンションがかかっていますので、手のひらでトラスを軽く持ち上げるとボタンが押しやすくなります。

4



お互いに矢印部分のトラスを握ってください。

5



テントを少し持ち上げながら、ゆっくりと前進し、3/4程度閉まったら静かに降ろします。

注意 手や指を挟まないように、落ち着いて作業してください。

6



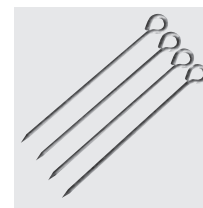
アウトターレッグを両手で握り、テント中心部に向けてゆっくりと押込みます。

テントが閉じ切ったら、上から収納カバーを被せて保管します。天幕を取り付けたまま、収納可能です。

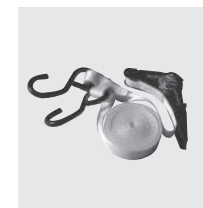
警告 テントの設営が完了した時点で、天幕の破れやたるみ、フレームの曲がり、ボルトやロック類の緩みなど異常のある場合は、テントのご使用を中止してください。また、対応については、お求めになった販売店にお問合せください。

風対策用品(別売品)

支柱付け根のプレート穴に直接しっかり打込みます。 支柱上部をアンカーや重垂物などに繋ぐ時に使用します。 積み重ね可能。2枚以上重ねて使うとより安全です。 水を入れてテントの支柱に固定します。全モデル対応です。



杭30cm(4本セット)



調整式固定ベルト



鋳物ウェイト (プレート型/メッキ)



鋳物ウェイト (丸型/塗装加工)



ウェイトバッグ

警告 使用場面に応じて、有効な風対策をしてください。また、強風などにあおられ、固定したベグやウェイトが外れ、事故が起こる可能性がありますので、風対策をした場合でも、決して過信はせず、悪天候時や天候悪化が予想されたり、突風が吹く可能性がある時は、速やかにテントのご使用を中止してください。